

3月の産地情報

輪菊	白菊	愛知、静岡中心の出荷。各地ともに彼岸向けに13日頃が出荷のピークとなる。MSクラスの割合が非常に少ない状況。
	黄・赤菊	静岡、沖縄中心の出荷。各地ともに生産量の減少が見込まれる。13日販売がピークとなる見込み。
小菊		沖縄産主体。昨年より出荷量が減少の見込み。色バランスの崩れがあり、黄:5割、白:3割、赤:2割のバランスとなる見込み。
SPマム		愛知、静岡、栃木、沖縄中心の出荷。作付けは昨年比べ、若干減少。6日頃から増加してくる。
バラ		各産地3月需要を見据えた出荷調整を行っている。中下位等級の発生はやや少ない見込み。輸入品の出荷もまずまず。
カーネーション		産地は千葉、静岡、長崎、栃木。作付けは昨年並みで、今のところ生育は順調。上旬から出荷量が増加してくる。
かすみ草		全体量は例年並みだが、天候次第で数量が増減となる見込み。
リシアンサス		やや前進しているため、前半は数量が多く、後半は数量が少ない見込み。
ユリ	オリエンタル	高知、埼玉、千葉中心の出荷で、彼岸～年度末需要に向けて数量は増えてくるが、昨年よりはやや少ない出荷となる見込み。カサブランカは極端に少な目で、白:ピンクは6:4の作付け。
	スカシ・鉄砲	埼玉、千葉中心の出荷で、FLCグループより初めての予約相対提案あり。日ノ本は数量少な目。スカシLAも埼玉、千葉中心の出荷。数量は例年並みの見込みで、彼岸向け出荷中心となる。
洋ラン類		オンシジューム、デンファレに関しては輸入、国産共に数量は少なめの見込み。カトレア、シンビジュームも出荷量は増えず少なめとなる見込み。
季節もの		ストック、スナップは2月の遅れ分が3月に向けて順調な出荷の見込み。桜は低温遭遇時間も十分で潤沢に出荷あり。カキツは3月下司より出荷開始の見込み。お彼岸用雪柳は注文優先となり、競り品は少ない。